

うれいの

議会だより

鍋野手漉和紙工房



鍋野手漉
毎週日曜日
実演

議案質疑

2-5P

一般質問に16名

10-21P

委員会レポート

22-23P

人事

24P

学校問題特別委員会中間報告 24P

厳寒の中、息づく伝統工芸(20年1月13日)

確認ミスが とりかえしのつかないことに

固定資産税返還

五代の肥前陶土工業協同組合に対して、建物の一部にかかる固定資産税を非課税としなければならなかったにも関わらず、昭和46年度より現在まで課税をしております。36年前に起きたミスが今日まで及び、肥前陶土工業協同組合の方々には迷惑をお掛けしたものと認めます。

このようなことが発生しないよう再発防止に努めていただきたいと思います。誤って徴収された金額は返還することになります。五代の肥前陶土工業協同組合に対して、建物の一部にかかる固定資産税を非課税としなければならなかったにも関わらず、昭和46年度より現在まで課税をしております。36年前に起きたミスが今日まで及び、肥前陶土工業協同組合の方々には迷惑をお掛けしたものと認めます。



▲肥前陶土組合の事務所

前回、9月議会にて計上されていた楠風館建物防水工事費285万円を修正し、担当課・設計事務所・施工業者にて協議をしていただいております。今回、12月議会にて再度計上され、楠風館円柱保護工事費として210万円が提案されました。これとは別に雨漏りなどの瑕疵担保責任分が75万円、施工業者に負担していただきます。

雨漏りが発生すれば、腐食が進み建物の維持管理に大きく影響します。早急に修復されるようお願いいたします。嬉野市も古湯温泉・塩田中学校の耐震補強から改築・社会文化体育館の建設など多額の支出が予定されています。



▲風雨にさらされた、むき出しの丸柱

今後は適正な 工事期間の確保を 楠風館雨漏り工事

また、場合によっては現在耐震調査中の小学校の補強工事も必要です。今後は、事前協議は時間をかけて適正な工事期間の確保を図るべきです。また、将来にわたって安全に使用できるよう、公共施設の維持管理に努めていただきたいと思います。

12月定例議会

案議 議質

平成19年12月定例会が12月7日から19日まで13日間の日程で開催されました。

提案された議案は、一般会計・国民健康保険・農業集落排水事業・公共下水道事業・第七・第八地区画整理事業・水道事業の補正予算7件。他に、茶業研修施設条例案など8件が提案され、全議案が可決されました。（賛否表6P）

意見書「銃器等犯罪の根絶に関する意見書」など4件、決議1件についても可決されました。（8・9・21P参照）

市税の 前納 報奨金を廃止

嬉野市市税の全期前納報奨金制度を廃止する条例については、賛成10・反対10という結果で議長裁決となり、ここで議長が賛成したため、可決いたしました。

この結果平成20年度から全期前納報奨金制度はなくなります。

この制度は、集合徴収の市税の第1期納期限（6月30日）までに1年分を一括して納付した場合に、住民税と固定資産税について報奨金が支払われるというもので、市には報奨金を差引いた額を納めます。

平成18年度に457万3440円、平成19年度に482万1840円を報奨金として支払った形になります。

報奨金制度のメリットは、税収の早期確保・納税意識の向上、月々の納付書発送が不要になり事

務と経費が節減ができました。

デメリットは、厳しい財政状況の中で報奨金交付継続は困難、徴収方法により利用できる人、できない人があり不公平である、という点が挙げられます。

懸念されることは、水道料・給食費など滞納間

題が大きく報道されているように、市民の税や公共料金に対して納付する意識が低下していることです。今後一層の収納対策強化をお願いします。



▲月々送られてくる納付書

待望のアスベスト 除去工事着工へ



▲使うことができない嬉野町商工会3階会議室

水道事業会計において、昭和55年度から59年度までに借入れた政府資金と、平成元年度から3年度までに借入れた公営企業金融公庫分、合わせて5億4079万円を繰上償還することにより、平成20年度に補償金免除額（利息分）が、3511万円軽減されます。

繰上償還は、平成19年度から21年度までの3年間で、企業債10億4929万円が予定されており、今後14年間（平成20年度（33年度）で3億5901万円の利息が軽減されます。

繰上対象の企業債は、全て利率が高く、5・00割から7・50割であり、今後の水道事業会計の運



▲市民に安心安全な水を

6月定例会において、嬉野町商工会より提出された陳情書が、9月定例会において採択となり、今回12月定例会において、待望のアスベストの除去に係る費用として、350万円の補助が決定しました。

商工会は中小・零細事業者に対する指導・育成を図るための唯一の機関です。その事務局である、嬉野町商工会館3階の大会議室天井全面に、吹付けアス

ベストが施されていました。最近の社会問題化に伴い、大会議室を使用禁止にしているため、打合せや研修・会議などと思うようにできない状態です。

商工会員はもとより、会館を利用する市民の健康と、商工会事務所本来の機能を早急に回復させるために、アスベスト除去に係る経費に対し補助を行います。

嬉野町商工会館は、昭

和49年に建築され、既に33年経過し、雨漏りや外壁のはがれなどが数箇所あり、会館全体の改修工事に合わせて、アスベスト除去工事を行います。

今回の改修工事の総額は、2054万円が予定されています。

改修工事が完了されてからは、会館の定期的メンテナンスを実施されて、商工会館の機能が充分発揮されるよう期待します。

繰上げ償還に伴い 多額の利息分が支払い不要に

営に、大きく期待されるものと思われます。

今回の繰上償還の財源は、水道事業会計の留保資金約14億円の中から償還されます。

市民の大切な財産が有

効に利用され、その恩恵が市民に分ち合えるように、しっかりと見守りたいものです。

議案質議



▲完成した仮設校舎(塩田中)

県建築物耐震性能判定委員会による最終判定結果を受けて、塩田中学校普通教室棟の、耐震補強のための設計業務に係る委託料が計上され、今年の夏休みを利用して、耐震補強工事が施工される予定です。

塩田中学校グラウンドには、3棟の仮設校舎が完成し、空調設備の整った教室で、しばらくの間授業を受けることになりました。

管理棟・特別教室棟・体育館においても、耐震補強が必要であるとの判定委員会からの報告もあり、今後の対応に注目したいと思います。

また、五町田小学校校舎

舎2棟、久間小学校校舎2棟と体育館、吉田中学校体育館の耐震診断の結果が出るのを受けて、耐震補強計画書作成のための委託料が計上されました。

市議会・学校問題特別委員会では、「耐震補強を行うよりも、普通教室棟を手始めに全棟改築を行い、将来にわたって生徒に快適な教育環境を与えるべきであり、早急に改築を視野に入れた協議を開始すべき」との、中間報告（24P参照）が提出されており、市当局並びに教育委員会の適切な対応が期待されます。

教室の環境を整えて 学習に工夫と配慮を

授業中に落ち着かず動き回ったり、衝動的な行動を起こしたりすると、先生は授業を中断して、子どもの起こす問題に対処しなければなりません。

多数の児童生徒を抱える通常学級の担任教師だけで対応するにはやはり限界があり、学校全体の問題として捉えて対応する必要があります。

新しい教育支援制度として、個別の支援を必要と

する子どもたちのための、通級による特別指導が可能になり、本市においては、平成18年4月から、県内でもいち早く、轟小学校において、発達支援に関する通級指導教室が開設されています。

市外から通って来る児童もあり教室が手狭になり、また、個々の児童に適した指導・教育に配慮した学習環境を整備するため、教室の改修工事が今

議会の補正予算に計上されました。

教室の環境を整えて、子どもたちが学習に集中

できるように、また、児童の個性にあった学習の工夫と配慮が望まれます。

よみがえる 重要文化財 西岡家住宅

重要文化財西岡家住宅保存修理事業が、平成19年11月から平成22年3月までの期間で実施されます。

西岡家は、江戸後期の建造物であり、漆喰壁の重厚な居蔵家と呼ばれる土蔵造りの町家です。

昭和49年2月5日に重要文化財西岡家住宅として国の指定を受けています。

現在の状況は、瓦の破損や風化が進み、雨漏りや白蟻などによる軸組みや部材の腐食がいちじるしく、健全な保存が困難な状態です。

今回の事業の内容は、瓦

を取り外しての保存状態の調査、また、屋根を剥ぎ部材の保存状態と軸組みを調べ、腐食した箇所を取り替えて、床周りの調整、外壁（漆喰壁）の復元などです。

平成19年度工事費は約1900万円、20年度が約8600万円、21年度が約6200万円の予定です。

復旧する主屋、上便所、渡り廊下に携わる職人の匠の技を駆使して「塩田津」の核となるよう復元していただきたいと思っています。



▲保存工事が始まる西岡家

陳

市民の声を議会へ

情

●陳情者

嬉野町岩屋川内
上岩屋区長 田中 正春

市道 上岩屋井手口杭線舗装補修を

市道、井手口一小杭線は、舗装路面の痛みが激しく亀裂が生じ、小中学生の自転



▲小型車が通るのもギリギリ(冬野地区)

●陳情者

塩田町久間
冬野区長 吉田 雅孝

市道 二本松南線拡幅を

住家が連なり、幅員が2・2メートル全長207メートルで片側には水路が併行し、車を通る時、歩行者は通行できず、通学路でもあり子どもの安全のために

●審査結果

(採択)
も早期実現をお願いします。
願意妥当と認めます。
数年に分けてでも計画的に整備する必要がある。
産業建設委員会

●陳情者

鹿島藤津地区医師会立
看護高等専修学校
校長 織田 正道

財政的支援を

●審査結果

(採択)
願意妥当と認めます。
現在の舗装面の上にアスファルト簡易舗装を早急に施工する必要がある。
産業建設委員会

●陳情者

五町田地区
大区長 山口 忠弘

五町田第五地区に有蓋防火水槽を

●審査結果

(採択)
現地調査の決果、自然水利が非常に乏しい地域であり、初期消火に支障がきたす恐れがあり、整備が必要である。
総務委員会



▲下川原市営住宅の横

鍼灸治療費存続を

●陳情者

嬉野市老人クラブ連合会
会長 諸岡 義克

●審査結果

(採択)
願意妥当と認めます。
平成20年度から、後期高齢者医療制度移行に伴い75歳以上の国保加入者が利用できなくなる。
今後鍼灸治療の助成をご配慮下さい。
文教厚生委員会

討論

市税全期前納
報奨金制度の廃止案

賛成

前納報奨金制度は
不公平な制度

野副 道夫 議員



市税の全期前納報奨金制度は、税の収納上公平な制度かのように見えるが、裏を返して見れば、普通徴収の制度利用者のみが適用される制度であり、納税者の60割にも及ぶ特別徴収（給料などから天引き）の制度による納税者には適用の範囲が

及ばない制度である。
当制度を廃止することによって、税の徴収上若干のブレはあるかも知れないが、納税の公平性の原則、更に市民が等しく受けるという立場から、議案第85号、市税の全期前納報奨金制度の廃止に賛成である。
なお、今日まで、全期前納制度を利用して下さった方々に対しては、理解を得られるよう努力されることを申し添えて、賛成討論とする。

反対

廃止は
納税意欲を削ぐ

平野 昭義 議員



全期前納報奨金制度は、一時廃止されていた。合併協議の中で、全期前納報奨金制度は続ける方向で協議され、平成19年度に全期前納されている納税者は3374件である。
金額にして5億2100万円で、これに伴う奨

励金は480万円である。
この制度の廃止により、前納してこられた納税者、前納を考慮しておられる納税者にとっては、その意欲を削ぐことになる。
約3000件に及ぶ發送経費は計算されたのか、また全期前納報奨金による収納額、5億2100万円が財政上からも貢献してきていると考え、この制度の廃止には反対する。

賛 否 表

○は賛成 ●は反対

	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	16	17	18	19	20	21
	結 果	表 決 数	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	秋月留美子	園田浩之	副島孝裕	田中政司	川原等	織田菊男	芦塚典子	神近勝彦	太田重喜	山口榮一	野副道夫	副島敏之	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山田伊佐男	山口栄秋
市長及び副市長の給与の特例に関する条例について	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市税の全期前納報奨金制度の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について	★可決	10:10	○	○	○	●	●	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	○
嬉野市茶業研修施設条例について	可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算（第3号）	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計補正予算（第2号）	可決	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嬉野市教育委員会委員の任命について	同意	20:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路整備財源の確保に関する意見書	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

★ 議案第85号（上から2段目）については、表決の結果、賛成・反対同数のため、地方自治法116条第1項の規定により議長裁決で可決

道路網整備なくして 地方の発展なし!

衆議院議長 河野 洋平様
参議院議長 江田 五月様
内閣総理大臣 福田 康夫様
総務大臣 増田 寛也様
財務大臣 額賀福志郎様
国土交通大臣 冬柴 鐵三様

佐賀県嬉野市議会 議長 山口要

道路は、活力ある自立した地域社会の形成や産業の振興、経済活動の拡大を図るとともに、通勤通学などの日常生活を支える最も基礎的な社会資本であり、地域間の交流・連携を促進し、真に豊かで安心して暮らせる地域社会の実現には、その着実な整備が必要不可欠である。

道路特定財源制度の改正にあたっては、地方が真に必要な道路整備や適切な維持管理を計画的に進められるよう、その財源として確保するとともに、地方の声や実情に十分配慮しながら、道路整備の安定的な財源として確保する制度となるよう強く要望する。

道路整備財源の確保に関する意見書

採択されました

意見を かたちに

意見書とは、地方議会固有の権限で、地方自治体の議会または地方公共団体の公益に関する意見を国や関係機関に提出することができる、という

ものです。
嬉野市議会では、皆さんからの請願・陳情や議員自らの声を国政や県政に反映させるべく、多くの意見書を提出しています。

平和な日本を とりもどせ!

銃器等犯罪の根絶に関する意見書

採択されました

平成19年11月8日、隣接する武雄市の病院において入院患者が拳銃で射殺される事件が発生した。嬉野市民のみならず多くの国民は衝撃を受け、銃器等犯罪に対して恐怖と不安を感じている。

銃器等による犯罪が全国各地で絶え間なく発生している状況は、極めて憂慮すべき事態である。

国においては、今回のような銃器等による凶悪犯罪の発生を重く受け止め、銃器等犯罪の対策等を強化することにより、二度とこのような事件が起きることがないように、万全の対策を強く求める。

佐賀県嬉野市議会 議長 山口要

衆議院議長 河野洋平様
参議院議長 江田五月様
内閣総理大臣 福田康夫様
総務大臣 増田寛也様
国家公安委員長 泉 信也様

夢と希望がもてる 農業政策を!

衆議院議長 河野 洋平様
参議院議長 江田 五月様
内閣総理大臣 福田 康夫様
農林生産大臣 若林 正俊様

佐賀県嬉野市議会 議長 山口要

- 原油価格等の高騰に対処するため、コスト削減に向け新たな取り組みに対し支援措置を講ずること。
- 消費者の安心の確保に大きく寄与するものであることから、BSE全頭検査体制が維持されるよう措置すること。
- WTO農業交渉やEPA・FTA交渉は、慎重に交渉を行うこと。
- 米政策改革推進対策については、農業者が今後とも意欲をもって農業経営が持続できるような対策を講じるなど、農業現場の実情を踏まえ見直すこと。
- 品目横断的経営安定対策については、規模等要件の緩和やゲタ・ナラシ対策の拡大など、農業現場の実情を踏まえて見直すこと。
- WTO農業交渉やEPA・FTA交渉は、慎重に交渉を行うこと。

農業政策見直しに関する意見書

採択されました

我が国の農業政策については、平成19年度からは、戦後農政の大転換となる「米政策改革推進対策」、「品目横断的経営安定対策」並びに「農地・水・環境保全向上対策」が実施されることとなり、現在、国内農業の体質強化に向けた新たな政策に取り組んでいる。国においては、農業者が夢と希望を持って営農に励み、農業・農村が将来にわたり持続的に発展できるように、以下の事項について強く要望する。

衆議院議長 河野 洋平様
参議院議長 江田 五月様
内閣総理大臣 福田 康夫様
総務大臣 増田 寛也様
財務大臣 額賀福志郎様

佐賀県嬉野市議会 議長 山口要

- 地域間の財政力格差が適切に調整されるよう、地方交付税を最大限「還元」すること。
- 地方法人二税と消費税の「税源交換」を実現すること。
- 地方消費税を廃止し、年金財源に全額充当することは断じて行わないこと。

地方再生は今やわが国の緊急の政治課題である。三位一体の改革の名を借りて、地方側の予想を大幅に上回る規模で地方交付税が一方的に削減された結果、多くの自治体が歳出予算の削減につぐ削減を余儀なくされ、公共サービスの見直しを迫られている状況である。

国においては、地方公共団体の厳しい財政状況を十分認識し、各地方公共団体の毎年度の予算編成に支障が生じることのないよう、下記の事項について強く要望する。

地方交付税の復元に関する意見書

採択されました

一問一答90分

お茶の間で議会を

【CATV放送時間】
質問当日の午後7時～
質問日時については、議会
事務局におたずねください。
(0954-66-9127)

市政へのもの申す

師走議会も16人が質問



平野 都市と地方の格差は加速し、高齢化が進み農業は崩壊している。

地方の活力は、企業誘致・人口増対策以外ない。この問題について再三質問してきたが、計画などどのように進めているか。

市長 当初と補正予算328万5千円を計上し企業誘致活動の調査のため、嘱託職員を雇用した。

また、中堅職員を県に派遣し、情報収集させている。**企画課長** 今回の予算で基本調査を完成させていきたい。基本調査として西山（7ヶ分）・中通（10ヶ分）地権者に同意をいただくよう今、回っている。

平野 北方インターから西山・光武・中通・下久間、更には塩田川に橋をかけ、鹿島のバイパスに通じる高規格道路を早急に計画し、伊万里・武雄・鹿島太良地区との交流を盛んにすべき

市立図書館の開館時間を延長できないか

園田 浩之 議員

答 現状では考えられないか検討する



園田 嬉野市の図書館の開館時間は平日が朝9時から夕方6時までである。

大人が市の図書館を利用しようと思ったら、現実的には日曜日の昼間しかなく、平日の開館時間だと主婦が高齢者か、就学前の子供ぐらいいしか、利用がで

ではないか。

市長 県においても武雄地区から嬉野を経て鹿島に至る高規格の道路を検討されていて、決定はされていないが、議員の提案は地域全体の道路網に影響が出てくるので連動させて計画ができればと考えている。

平野 企業誘致活動に、1人の職員が懸命に努力され、4社以上の誘致に成功され、2万2700人の小さな町に5800人の人口増となり2万8300人の町になったと、経済産業省が紹介している。

企業誘致活動は「本物の人」でなければできない。市長は担当課に、「営業マン教育」はされてきたのか。

市長 以前から民間感覚の教育はしてきた。営業に出るための手持

企業誘致・人口対策の青写真を示せ

平野 昭義 議員

答 西山・中通地区調査道路網実現に努力する

この材料がないので、早急に整備し企業誘致関係の所に出向かせ、勉強させている。

県の協力もいただき精力的に努力している。

平野 久間地区には、朝日を浴びる緩やかな地形が広がり、人の住む生活環境に最適と考える、調査していただきたい。

市長 道路網整備に伴い

当然、住環境の変化も生じ、人口増対策になるので、団地開発については民間の方と連携し対応していく。

財政難と新幹線問題

平野 塩田地区市民は大多数が財政面と利便性から反対意見が大半である。**市長** 西九州発展のために理解していただきたい。



▲工業団地へつながる高規格道路の建設を（武雄榑崎地区）

きない。

開館時間をずらすと、仕事帰りや学校帰りに、小一時間勉強できるし、ゆつくり本も選べるので、せめて、夜8時ぐらいまでは開けてほしい。

市長 県立図書館においては夜8時まで、また、2、3の市において、夜7時までの開館を行っている。今後、検討をしたい。

園田 嬉野町の図書館がTRCというシステムが導入され、現在稼働をしている。

本の購入の仕方は導入後どう変わったか。

社会教育課長 嬉野図書館では、TRCからの購入の割合は、97・7割になっている。

園田 市が地元の書店から直接購入すると、2割近くの利益が本屋さんにあるが、TRCが窓口になると、利益が5割という話を聞いた。

2割前後の粗利益のなかから従業員の給料を払ったり、固定資産税を払ったりしている。

TRCを導入することによって、大変便利にはなる

ことは十分理解する。

5割の利益では生活できる範囲ではない、地元の業者を通さず窓口だけで本場に歓喜の声が聞こえる嬉野市が創生できるか。

現在現場の職員は大変な作業をしておられる。

その作業が済んだ後は、ぜひ地元の業者を利用していたきたい。

このまちから本屋さんがなくならないためにも。

市長 導入のときも、また導入後も非常にそういうことを心配し、また、地元業者の方を一番大事に



▲7時まで開いている鹿島市民図書館



▲6時で閉館する嬉野市図書館

その他の質問

・資格取得奨励金
・カタカナ用語の乱用撲滅
・県の緊急プログラム

考えている。

園田 商店街に限らず、個々の事業者は非常に疲弊し悲鳴を上げている。

新たな制度、新たなシステムを導入するときには、市長・行政は、くれぐれも慎重審議をしていただいた上で、制度を導入していただくことを切に願っています。



相談窓口の充実を求める

梶原 睦也 議員

答 職員の努力と研修を続ける

梶原 市内における消費者問題や、多重債務に対する相談体制の状況は。

市長 多重債務の問題だと、専門家や弁護士とか消費生活の専門家を紹介している。

梶原 私も色々な相談をお受けするが、素早い対応が必要だ。

スピードのある対応を求める。

また、法テラスの活用状況はいかがか。

法テラスは低所得の方へ弁護士費用を立て替えたリ、格安の費用で相談に乗っていただける制度であるので、この制度をもっと広報、活用すべきではないか。

市長 法テラスについては、それぞれの部署でまだ広報が十分でないと考えている。

また、県も広報などについては取り組まれると思

うので、連携しながらやっていく。

梶原 鹿児島県奄美市では、市民生活相談を担当している職員が多重債務対策に取り組み、NHKでも報道され「奄美方式」として知られるようになった。

生活保護や市税、公共料金の滞納対策の担当職員が、多重債務者の情報を耳にすると、まず市民生活係への相談を勧める。

そこで借金の状況、家庭構成、税の滞納の有無などを聞き取り、生活再建を考える。

債務整理が必要となれば、その場で弁護士との面談日を決め、解決を図る。

こういう形態の相談体制を作るべきと考えるが。
市長 市民生活の再建に寄与できるような相談体制を点検し、今後研究してまいりたい。

梶原 相談に行く人はい



▲支所の相談窓口

いが、相談にいかなくて悩んでいる人をどうするのかも行政の役目と考える。

そういう意味でも先進地の奄美を視察し研究すべきだ。

市長 職員の研修ということでは可能だ。

梶原 多重債務問題というのは単に税金や公共料

金の滞納という金銭的な問題だけでなく、自殺や家庭不和、家庭内暴力、犯罪等の問題とも深くかわっている。

1個人の問題として捉えるのではなく、行政が一人ひとりとしっかり対話を重ね解決へ導く役割を果たすことが大事である。

ネーミングライツについて (施設命名権の売却)

太田 重喜 議員

答 一応検討はしてみたい

該当する施設はどの位あるか。

市長 研究はしたが、検討はしていない。

市有林については企業の森として検討したが、実施していない。

太田 現在は、小さな停留所まで副停留所名を売り出している所さえある。

検討する気はあるのか、ないのか。

市長 一応あらゆる施設も考慮に入れ、検討はしてみたい。

太田 地球温暖化対策で温暖化促進排出ガス吸収効果の大きい森林育成で、市有林で伐期に入った山はどの位か。

支所農林課長 データを把握中である。
材積は15万7000立方メートルである。

太田 上不動の虚空蔵山下の太木、上石屋の鹿谷橋手前対岸の太木など、きちんと調査をし、市内の神社・仏閣の改築用材、あるいは地球環境の見地で、100年、200年、500年の育成を計り、木造の学校建築など考えるべきであり、長伐期、長々伐期



▲遊休地の利活用を（上不動）

遊休市有地は

市長 有効利用と売却を進めたい。

5カ所については、払い下げ、売却等を進めたい。

太田 国からの権限委譲の公有水面・里道で、すでに機能がないうものについて

市長 新しい環境保全、企業のイメージづくりということになれば、可能性はあると思う。

国でも取り組みを始めていることもあり、しばらく時間をかけ勉強させていきたい。

本庁建設課長 機能を有していないものは、そのまま国の財産だと思う。

明るい分かりやすい窓口に できませんか

芦塚 典子 議員

答 親切な対応を心掛けるよう指導している



芦塚 庁舎の窓口はどのようにに改革されたか。

市長 給茶施設を設置、支所はフロアの張り替えや記帳台の低床化と職員の接遇研修も行っている。

芦塚 明るい色でコーナーを分けてワンストップサ

ービス（1カ所で済む）や病院や銀行のように対面にしたら明るい庁舎の窓口になるのでは。

市長 対応したいが、ハード面や組織の問題がある。

自主財源減少の施策は
芦塚 自主財源が3億5千万円昨年より減少し、人口も毎年減少している。

自主財源の確保と産業浮揚策として定住政策や企業誘致政策が必要であるが施策はあるか。

市長 総合的に施策を展開している。

企業誘致については基本計画をおこなっている。

定住政策については住環境の整備を推進している。

芦塚 行きたい温泉地に嬉野温泉が全国3位（日経新聞入湯税1億円以下の部）になっているが、高速インター開通以来観光客は減少している。

インター近くは工業団地の絶好の場所、開発すべきではなかったか。

同じ3位の温泉地は毎年5〜7億円の市民の公募債（20歳から購入でき

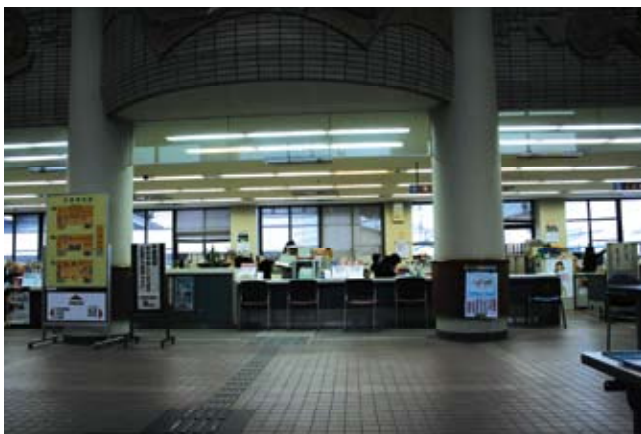
タウン等専門家との勉強会など地道な努力が見られる。

昨年度唐津市や有田町で特区申請している。

嬉野市の予測では人口減少、歳入削減となり将来は厳しい。

すぐプロジェクトチームを立ち上げるべきではないか。

市長 必要であれば委員会等作っていればと考え



▲改善が望まれる嬉野市の本庁窓口

新規自主財源の確保は

田口 好秋 議員

答 選択して努力する



と予想する。

田口 新たな経費削減策は。

市長 市長車を廃止する。人件費の総額について削減に取り組む。

田口 歳入見込みは。

市長 当初予算のスタートは105億程度と予想している。地方交付税はマインス4・2割、市民税、固定資産税は本年度並みと予想している。

また、全ての事業において新たな交付金制度に乗った新財源確保に努力していく。

自主財源の確保について



▲廃止される市長車

田口 国や県の厳しい財政事情と我が嬉野市の財政事情を見た場合、自主財源を増やすことが必要となる。

そのための政策は。

市長 資金運用・滞納処理・国で検討されているふるさと納税制度、合併の際に検討した新税などの取り組みについても見直し、全市を対象として検討する。

市の活性化と地場産業振興について

田口 温泉を軸とした観光産業の活性化支援策を

示せ。

市長 来年は全国規模のスポーツ大会が数回内定しており、今後も大会誘致に努力していく。さらに地場の食材と観光関連業界との関係を深め、嬉野ならではの食の提供を高めるよう取り組む。

田口 企業誘致の取り組みはどうなっているか。

市長 県に職員を派遣し情報収集をしている。

条件（工場団地）整備のために適地のリストアップや久間地区の団地整備にむけて手続きを進めている。

田口 農産品のブランド化について市長の考えと取り組みは。

市長 施設園芸品目は市

水田農業の生き残りは地産地消で

大島 恒典 議員

答 政策として取り組んでいく



大島 近年、米需要の減少や、高温障害による品質の低下などにより米の価格が低迷しており、将来の米作付けに対して非

常に不安を感じている。

支所農林課長 現在、県において高温障害に強い3品種が検討されている。

大島 現在取り組まれている品目横断的経営安定化対策についてはまだ色々な課題もあるが、集落営農組織がひとつの経営体として育ったときに色々な取り組みができるのではないかと考える。

場から高い評価を得ているが、課題として後継者育成と生産拡大がある。

今後、うれしのブランド

または嬉野温泉ブランドを独自に採用できないか関係者と協議をしていく。中期財政計画に施設園芸拡大の計画を取り入れる。

今進められている嬉野産大豆を使用した温泉湯豆腐、学校給食・パン原料の小麦、嬉野産の飼料用米で育てた畜産物など、色々な付加価値の高い商品造りも可能になるのではないかと。

市長 現在給食用のパンについては研究している。

年間安定して出荷できる量と、製造できるシステムとこの確立しなければならぬ。

大島 温泉湯豆腐については嬉野産大豆で取り組まれていると聞いているが。

支所農林課長 協議会が開かれ100トン程度を供給していただきたいという

社会文化体育館の建設急げ

西村 信夫 議員

答 3月までに審議会答申



西村 社会文化体育館建設に向けて審議会の経過と建設の目途は。

市長 審議会で協議されており、意見を述べる状況ではないが、市民の利用しやすい施設として検討を頂くものと期待している。

西村 20年3月審議会の答申を受けて建設の目途はいつか。

市長 着工までには、基本計画、設計・建設期間などで数年の期間がかかるかと承知している。

西村 社会文化体育館の早期建設に向け、署名活動を行い塩田町民のうねりは頂点に達している。署名6644名、塩田

町有権者の72割の署名を預かって市長の考えは。

除料が年金から強制天引きされる。新聞報道では佐賀県の1人あたり平均月額「8000円」、年間「9万5800円」、高齢者の相次ぐ負担増となる。保険制度の概要を伺う。

市長 署名をお預かりして、様々な意見があることを改めて承知した。

市長 佐賀県でも全自治体が構成員となり実施されるが、現在まで75歳以

後期高齢者医療保険制度について

西村 20年4月から実施される「75歳以上」の保



▲中央公園テニスコートより

上の医療費を基本に年間保険料が決定された。

4月からの実施を多くの高齢者は知らないのです。制度の周知徹底を図るべきだ。

西村 本市で75歳以上対象者「3994名」。

そのうち、子どもの健康保険の扶養家族となっ

ている人「1169名」も4月から新たに保険料を支払うことになるが、

の年休取得率は46割で過去最低と発表、嬉野市の年休・生理休暇の取得は。

市長 06年、平均7・3日・全体の37・3割で生理休暇の取得はない。

今後、年休、代休取得が推進できるよう努力する。

市職員・嘱託職員の労働環境について

西村 労働省の調査を大幅に下回る本市職員の取得率、改善を図るべきだ。

ことで現在調整されている。

してもらいたい。

大島 製造や価格面など課題は多いと思うが前向きに取り組んでいただきたい。

市長 地産地消の課題として農家の収入の確保が挙げられる。

交付金事業で今さまざまな事業が組み立てられている。

それぞれの省庁の事業をうまく組み合わせられれば解決できるのではないかと思っている。

自殺対策について

大島 近年非常に増加傾向にある、嬉野市内にも各種相談窓口が開設され



▲広々とした水田地帯（五町田地区）

人口減少の対策として、定住促進 奨励金制度を創設しては

副島 孝裕 議員

答 できるだけ早く導入したい



しており、子育てしやすい政策の展開と、観光業を中心としての活性化を人口増への施策として展開している。定住促進奨励金制度については、できるだけ早く導入したい。

副島 本市には日本三大美肌の湯・嬉野温泉があり、国立病院機構嬉野医療センターを中心として多くの医療機関に恵まれており、穏やかな気候と素朴な自然に囲まれた、すばらしい住環境の中にある。

人口減少の対策として、市外からの転入促進を図るため定住促進奨励金制度を創設しては。

市長 人口減が続いているが、少子現象が一番の原因。また、一部は企業の雇用者の減少により転出をやむなくされての減少と考える。

副島 市内、山間部を中心に人口減少が著しく進んでいる地域や、企業誘致を積極的に推進している伊万里市、武雄市などに近い地域に、定住促進のための特区を設定し、転入希望者に補助金などの交付制度を創設しては。

市長 地域を定めての定住策については、特区の制度を以前検討したが、なじまないとの事で断念した。

導入については、視点を変えて検討したい。

副島 転入を希望される

機構改革の実施時期は

田中 政司 議員

答 20年6月と考えている



画などを考えた場合、少ない人員で市民サービスを低下させないためには、避けて通れない機構改革と考えるが、いつごろと考えているのか。

市長 組織の形よりも実務を遂行しやすく、市民が利用しやすい組織として検討している。

時期として、予算との関係もあるので、3月議会に提案させていただき、6月からの施行と考えている。

**マニフェストを
作成せよ**

田中 合併から2年が経過した、今後の施策をどのような方向性でどのように実行しようと考えているのか、市民に分かりやすいように市長自身のマニフェストを作成されたらと考えるが。

市長 市の総合計画が自身の政策と考えている。

市民の皆様は毎年の政策成果をわかりやすく説明することが必要であると考え、今後担当課とともに研究する。

田中 19年6月議会において、組織及び機構の改革案が上程されたが、合併から1年半では時期早々ではないか、などの見解から議会の賛同は得られなかった。

人員派遣や人員削減計

コミュニティ税の 導入は

田中 宮崎市でコミュニティ税の導入について検討中との報道がなされた。

本市においても検討に値すると考えるが。

市長 今後4年間ぐらいをめどに全地区に地域コミュニティを設立したい。

新しい組織が出来上がりが活性化するためには、独自の予算が必要であると考える。

地域で集めて地域で前

向きに使っていただきたいと考えるが、そこまで地域に任せるのは課題もあるので、市民に理解を得ながら新しい嬉野の新税として取り組めればと考えている。

その他の質問

- ・お茶の消費拡大運動
- ・学校運営協議会

観光協会への さらなる支援を望む

秋月 留美子 議員

答 できる限りの協力をしていく



おり、今回ワンフロアでの3団体の活動も成果を上げていけると考える。市としてもできる限りの協力をしていく。

秋月 今、行政は専門家を育成する時期にあると感じるが、観光の分野でも、その現場により近い観光協会に市から職員を派遣し、将来の嬉野観光を担う人材を育成する必要性があると考えている。

市長 人材派遣を含む連携についての検討はしたが、現在の法では取り組みができない。

秋月 市の条例を定めて取り組んでほしい。

市長 基本的には一緒に仕事ができればよいと思っているし、指示をして研究をしている。

市長 現在の旅行形態は、団体観光から家族、個人グループ旅行に変化して

バリアフリーツアー センターと観光協会との すみわけについて

秋月 運営費は障がい者からの紹介料と物品販売によると聞いたが、果たして案内料は観光協会は無料、バリアフリーツアーセンターは有料で、案内所として成り立つのか。

市長 観光施設などの調査（障がい者への対応の度合い等）やPR、案内などを行う。

平成22年にUDの大会が本市で開催され、それに向けても連携が必要。

情報公開コーナーを 設けてほしい

秋月 市内の補助団体など税金によるものであり、市民が活動を知ることには地域コミュニティの推進に繋がるものと考えている。

市長 実施しているものもあるが、全体のコーナーはないので、年間を通じて活動を理解しやすい広報の場所を検討する。

方への支援策として、空き店舗や空き家などを登録、紹介する制度を設け、リフォーム費用の補助制度などを設けては。

市長 転入促進のための窓口も必要であると考え、前向きに取り組むを進めたい。

住宅団地の造成を急げ

副島 企業誘致の施策がなかなか進展しない中で、人口減少問題や定住促進の対策として、住宅団地の造成を急ぐべきと思うが。

市長 道路整備や下水道整備などを積極的に進め、



▲定住化が進んだ、のぞえ団地

住環境の整備に取り組んでいる。

伊万里市や武雄市など近隣に工業団地ができることは大歓迎であり、それに呼応した定住策をとっていく必要があり、できるだけ早く検討したい。

副島 積極的に取り組むことにより、地域の活性化はもとより、全国へ向けての大きな情報発信として、来年度に控えた「ふるさと納税」への引き金になるよう、勇気を持って、積極的に推進していただきたい。



▲バリアフリーツアーセンター開所式



▲地域で活用されている不動ふれあい体育館



新幹線鹿児島ルート全面開通の対策は

山田 伊佐男 議員

答 全市を挙げて取り組む

山田 鹿児島ルートが3年3カ月後、全面開通となる。沿線自治体は、積極的な観光客誘致に全力を注ぐことは必至だ。

当然、本市への影響は大きくないと考える。

観光立市の嬉野としてハード、ソフト面の観光施策を明確にしたい。

市長 全通後は、大きな影響があると考えている。健康保養プログラムの商品化や、古湯の整備により、魅力づくりに繋がると

思えるし、また、近隣との連携による商品開発に努力したい。

山田 本市の対応で、新幹線対策は大丈夫なのかと危惧するが。

市長 全市を挙げて活動する体制をつくらなければならぬ。

長崎、佐賀両県と一緒にルート化を打ち出さなければ対応できない。



▲整備が待たれる関所跡

妊婦無料検診の拡充を

山田 少子化対策の一環として、妊婦無料検診の拡充を促したい。

厚労省も、現状の2回から5回への拡充を求めているが。

市長 国からも、充実について通知があつていて、増加させる方向で研究

したい。

給食費を公会計移行へ

山田 給食費未納による収入不足は、食材の質や量を落とすこととなる。

給食費を納めている保護者に対しては、債務不履行となり不利益である。

したがって、公会計への移行をすべきだ。

教育長 私会計として、

学校給食センター運営委員会で管理運営されてお

りで、未納対策も協議中なので、直ちに公会計に移すことは考えにくい。

山田 他自治体では、公会計へ移行している。検討されたい。

行政調査報告の事後対応は

野副 道夫 議員

答 できることから処理する

総務部長 未決分は、のぞえ団地の残地が法的に墓地としては販売できなかった。

西山地区集水ピットは地元の要望に沿って設置すべきだと考える。

野副 18年6月は、消防団幹部と意見交換し、団員確保は行政から企業の理解を求めるよう申し添えていた。

総務部長 企業に対して積極的に対応する。

野副 市役所の雰囲気は暗いという声がある。消防団活動は奉仕である。声かけが足りないのでは。

市長 消防団の方に対してそのようなことがあつてはならない。

また消防団に限らず不足しているという指摘であり心がけていきたい。

生活習慣改善への取り組みは

野副 平成20年度から、特定健診、特定保健指導が義務付けられるが取り組みは大丈夫か。

市長 現在、地域への保健師の担当割を研究しており、地域や家庭の状況

を把握できる体制をとって行きたい。

野副 生活習慣の中で、食生活習慣が60、70を占めており、食生活を改善することによって生活習慣病が改善されるのではない。

市長 家庭からとなれば食生活の問題となる。

野副 食生活に対する指導が、塩田地区と嬉野地区では大きく差があるがどのように見ているか。

市民生活部長 塩田地区が多いのは、高血圧対策にも力を入れて来たが、

嬉野地区は婦人会支部の減少などがある。

野副 指導の場所についても塩田地区は各集落で、嬉野地区は限られた場所のみであり、ここにも大きな差がある。

市民生活部長 20年度から特定健診が始まるので予防は食事からという方向で検討していく。

野副 健康を推進することとは、個人の問題のみならず、市の財政にも影響を及ぼす問題であり積極的に取り組むべきだ。



▲一方通行じゃありません（木場線入口）

ではあるが、ある部分では思い切った取り組みもしなければ住民の期待に沿えない。

一般市道改良に19年度当初予算5900万円の予算がつけられている。

これについての予算増額と、不動山の大茶樹周辺の部分的な整備や、茶園農道・基盤整備なども増やすべきだ。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減

債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければいけないという厳しい状況にあるのかと思う。

基金残高は今回12月補正を出した後、財調と減債合わせて、13億8300万円が一般財源として投入できる基金の合計である。

山田 厳しい状況のなか

見込みを立てている。

国・県の補助金とか、あるいは交付金を入れての105億円なので、財源が不足した場合に基金を投入してでもやるべきことはやらなければ

塩田中学校の今後は

小田 寛之議員

答 早急に塩田地区全体の学校建設を検討する委員会を立ち上げる



小田 仮設校舎の完成を待っている状態である塩田中学校の今後は。

教育長 一日も早く校舎に戻っていただき、安心して授業を受けていただくような環境整備を行うことが教育委員会としては最優先だと考えている。

小田 少子化問題を踏まえ、いずれは塩田地区の各小学校を統合しなければ

必要であれば若干の補修・整備等も行つて、一日も早く新しい学校の建設を前提とした委員会を立ち上げ、市民の皆さんの御理解をいただきたいとお答えした。

小田 今なら合併特例債が使えると思うが、それでつくる予定なのか。

市長 合併特例債を利用しながらでも建てかえができればと考えている。

小田 合併特例債を使うとなれば、まだ塩田のほうにも社会文化体育館の建設があるが、一緒につくるとなると財政的に可能なのか。

市長 まだ数字を完全に計算をしたわけではないが、非常に厳しい状況だ。

小田 学校施設は安全でなければならぬ。社会文化体育館と学校建設というのをはかった場合は、学校建設を優先してやっていただきたい。例えば小中学校を統合した場合、塩田地区内に自由に使える体育館が4つ残る。足りないのは文化ホールだけになる。

市長 旧町のとときの経験

で不動小が轟小学校区に統一したとき、地域の方が希望され、不動地区に体育館ができたが、地域のための体育館で、利用頻度が非常に高く親しみを持って使われているという現状がある。

▲統合した場合、自由に使える体育館(久間小)



決議

「安全・安心のまち宣言」を決議しました

決議文

犯罪や交通事故、災害が身近にせまった今日の社会にあつて、あらゆる面で安全・安心に暮らすことは私たち嬉野市民の切なる願いである。

しかし、かつて地域社会が持っていた犯罪抑止の機能は低下し、毎日の暮らしに大きな不安が広がっている。

特に、多くの観光客の訪れる本市は、人々の交流が活発な反面、事故や犯罪の危険性が高く、多

くの不安材料を抱えている。

今こそ市民一人ひとりが人やまちを大切にする心を育み、家庭、地域、警察など多くの機関が協力し合い、暴力、犯罪を排除し、快適に暮らせるまちをつくっていかねければならない。

よって嬉野市議会は、安全で安心な地域社会の実現を願い、ここに「安全・安心のまち」を宣言する。

平成19年12月7日
佐賀県嬉野市議会

はり・灸の助成はどうする

神近 勝彦 議員

答 一般会計で対応する



市長 一般会計で対応したいと考えて指示した。

神近 近隣の市町と連携し、お互いの市民、町民が相互に利用できるように内容を統一すべきだ。

市長 近隣の情報を収集しているが、一般会計で対応しようということと同じ考えのようだ。

来年初めごろには、助成内容について打合せできればと考える。

塩田中学校はこの場所でもいいのか

神近 現在の中学校の場所は、平成2年の水害を想定した場合どうなる。



▲これからも利用できるように・・・

副市長 平成2年は、運動場が50〜60センチ水没したと記憶している。

大潮と大雨がぶつかった場合は、どの程度影響があるか非常に危惧する。

神近 学校の体育館・校舎は、全国的に災害時の避難場所であるが、塩田中学校はどうか。

総務部長 今回の地域防災計画に入っている。

神近 現在の場所は、水没する可能性がある。学校を市民の避難場所と位置づけするならば、「現在の場所でもいいのか」という問題が発生する。

今後の委員会で十分検討する必要がある。

安心・安全な給食はできるのか

神近 嘱託・臨時職員の採用については、9月定例会で法律に基づいて採用することであったが、現在の嘱託・臨時職

員への説明は十分か。

総務部長 細かい説明はしていない。

予算要求時点までには、ある程度結論をだしたい。

神近 嬉野学校給食センターは1日に2300食を作る。

新たな調理員が短期間の研修で調理できるのか。

教育長 業務的には技術的な専門家でないで支障をきたす可能性が十分ある。

神近 安心・安全な給食を提供することを一番に考えるべきだ。

「ひとにやさしいまち宣言」モニュメント完成



▲本庁玄関横に設置されたモニュメント

19年3月議会で決議された「ひとにやさしいまち」宣言のモニュメントが、本庁玄関右側に設置され、12月19日現地に、嬉野出身である染川浩美氏製作のブロンズ像除幕式がとりおこなわれました。

宣言決議に引き続いてのことでもあり、出席者はあらためて宣言の重みをかみしめ、その推進を心に刻み込みました。

どう生かす



▲安芸高田市議会にて

広島県
安芸高田市へ

開かれた議会 づくりを目指して

議会運営委員会
議員会

議会運営委員会では、去る11月28日広島県安芸高田市の議会運営状況について調査した。

安芸高田市は、高田郡6町が平成16年3月合併し、議長を除く全議員で議会改革特別委員会を設立し、協議をされている。

《委員会の意見》
議会改革特別委員会は、まだ協議の途上であり、議会運営を会派制で行っており、先進的な会派もあるが、6町と多くの議会が合併しているため、議員間の協議がまとまらない特徴もあり、まだ時間が必要ではないかと考えられる。

「市民の意見を聞く会」の発案と開催までの努力は敬意を持って評価する。

「市民の意見を聞く会」の発案と開催までの努力は敬意を持って評価する。

熊本県大津市
豊後高田市へ

核となりえるか 新幹線

産業建設委員会

旧塩田町と旧嬉野町の発展と、焼き物業界に大きく関わってきた熊本県天草陶石と、新幹線が通る鹿児島県出水市を調査した。

昭和54年から55年は、焼き物業界も最盛期を迎えていたが、現在では、ピーク時の3割まで陶土の供給が落ち込んでおり、いかに窯業界が不振にあっていいるか感じられた。しかし、県立有田窯業技術センターと熊本県・長崎県が協同で、これまで

《委員会の意見》
長崎新幹線により嬉野市を発展させるためには、民間主導のプロジェクトを発足し先進地の視察などを十分におこない、いかにして嬉野温泉駅に乗り降りしてもらうか、更に、駅周辺整備など十分に検討し計画をしておく必要がある。



▲採掘される天草陶石

委員会視察

愛知県
田原市へ

住民の納得する 行政機構の改善を

総務企画委員会

総務企画委員会は、去る11月20・21日愛知県田原市を調査した。

田原市は、明治・昭和・平成と合併を重ねてこられた市であり、合併特例債により地域コミュニティの拠点整備がかなわれ、これから推進しようとする当市にとって、先進のまちとして視察研修した。

また一方では施設園芸を中心に、農業のまちとしても発展を続け、切花・メロン・キャベツなど全国でも有数の農業地域として知られ、これらは全国1位の生産高が続いている。

海と緑に包まれた田園都市の実現を目指しておられ、地域コミュニティの拠点整備がかなわれている。

地域コミュニティの確立に向けた取り組みは、市内全域で確立できるように、市長以下全職員が一丸となって対応しなければならぬことを付け加え、委員会の意見とする。



▲田原市役所にて

ゴミ焼却施設は 発電所

別府市・津久見市へ

文教厚生委員会

嬉野市の可燃物ゴミは、武雄市にある杵藤クリーンセンターで焼却されている。しかし、施設の老朽化や維持管理費の増大など多くの課題がある。

現在、新しい施設の建設について佐賀県西部広域環境組合が設立され、平成26年度完成を目標に協議されているが、嬉野市にとってゴミ処理は大きな課題である。

《委員会の意見》
別府市は、平成25年度に新しい施設を完成させる予定で現在協議をおこなっている。

別府市では、可燃物ゴミを焼却する際の余熱を発電に生かし、施設の全電力

利用と余剰電力の売電を計画されており、年間合計1億2900万円の財政効果が見込まれている。

廃プラやペットボトルも燃料と位置づけられ、分別収集はかなわれないとのことであった。

理由としては、廃プラやペットボトルの分別にかかる各種の人員費や処理費用を考えれば大幅なコストダウンが見込まれるとのことである。

西部広域環境組合での建設・運営ではあるが、嬉野市には大きな負担が発生することを考えれば、処理方式など今後も調査する必要がある。



▲別府市役所にて

人

事

教育委員 人権擁護委員

教育委員の 新任と退任

新任 淵 正幸 氏

塩田町宮ノ元

太田保男委員が平成20年2月16日をもって任期満了をむかえ、その後任に淵正幸氏が4年間、教育委員として活躍していただくことになりました。淵氏は嬉野小学校校長などを勤められました。

退任 太田 保男 氏

嬉野町井手川内

嬉野小学校校長を退職後平成14年10月から嬉野町教育長を勤められ、合併後も教育委員及び教育委員長として活躍されました。どうもお疲れ様でした。



中山 肇 氏

人権擁護委員再任

中山 肇 氏

人権擁護委員の任期（3年）が平成19年12月21日で満了することから委員の再任について議会に諮問され、適任と認めました。



太田 保男 氏



淵 正幸 氏

学校問題特別委員会

中間報告を提出しました

塩田中の全面改築を

まず、教育及び財政部局から聞き取りを行なった。

教育部局からは、

①全棟改築

②普通教室棟のみ改築

③全棟耐震補強及び

リフォーム

いずれかの選択となる。

児童数の減少を見越し再編・統合も視野に入れるべきであるが、保護者・市民に周知期間が必要。

また、財政部局からは、合併特例債の活用は可能であるが、他事業の進捗との調整を図る必要がある。との説明を受けた。

本委員会の意見は、耐震補強を行なった場合、負担は少ないが教育環境が悪くなり、老朽化した校舎を更に最長で20数年使用するとなると好ましくない。

よって耐震補強よりも、普通教室棟を手始めに全棟改築を行なって快適な教育環境を整備すべきであり、そのため早急に改築のための協議を開始すべき、というものである。

編・集・後・記

嬉野市も合併から2年を経過しました。

全国に3200あまり

あった市区町村が1820に（平成20年1月現在）、県内の49市町村は

10市10町と激減しました。

嬉野市も8回の定例議

会を終え正月を迎えまし

たが、都市経済の好調の

一方で取り残される地方

過疎・高齢化で共同生

活が営めない限界集落は

増加しています。

本年の目標は、企業誘

致をはじめ地域活性化に

取り組み、市民が融和し

歓声が高らかに響く街づ

くりを努めていきたいと

思います。

議会広報編集委員会

委員長

園田 浩之

副委員長

平野 昭義

太田 重喜

川原 等

副島 孝裕

小田 寛之